

## 民間ネット調査「水環境に関するアンケート」（令和6年7月実施）の結果

### ○調査目的

大阪市では、2021年3月に大阪府と共同で策定した「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画に基づき、あらゆるステークホルダーとの連携のもと、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が掲げる「2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロ」の実現に寄与するとともに、2019年12月に新たに策定した「大阪市環境基本計画」の、水分野の個別計画としてSDGsの達成への貢献をめざしております。

そこで、市民のみなさまが大阪市の水環境に関して、どのような意識やお考えをお持ちになっているのかをお聞きし、2025年度を目途に予定している本実行計画の中間見直しの参考とするため、今回の調査を実施しました。

### ○調査期間

令和6年7月26日から29日

### ○調査内容

- (1) 大阪市の水環境について
- (2) 水辺の施設・空間について
- (3) 海洋プラスチックごみ問題について
- (4) まちなかや川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について

### ○回答構成

- (1) 有効回答数 500回答（100%）（調査対象500人）
- (2) 回答者属性

年代別	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
調査対象数（人）	85	75	85	80	175	500
割合（%）	17.0	15.0	17.0	16.0	35.0	100.0

地域別	中心	西部	北部	東部	南部	合計
調査対象数（人）	108	59	87	124	122	500
割合（%）	21.6	11.8	17.4	24.8	24.4	100.0

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた18歳以上の大阪市民500人  
（令和5年度調査と同じ）

#### 【地域別】

中心ブロック：北区・福島区・中央区・西区・天王寺区・浪速区

西部ブロック：此花区・港区・大正区・住之江区

北部ブロック：西淀川区・淀川区・東淀川区

東部ブロック：都島区・東成区・生野区・旭区・城東区・鶴見区

南部ブロック：阿倍野区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区

※本調査結果についての留意事項

- ・質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- ・数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入で算出しています。したがって、内訳の合計が全体の合計に一致しないことがあります。また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。
- ・自由記入設問の件数については母数を超える場合があります。

[参考]

(1) 令和5年度に実施した民間ネット調査

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた18歳以上の大阪市民  
500人

調査期間：令和5年9月8日から9月11日

調査内容：(1) 大阪市の水環境について  
(2) 水辺の施設・空間について  
(3) 海洋プラスチックごみ問題について  
(4) まちなかや川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について

有効回答数：500回答(100%)

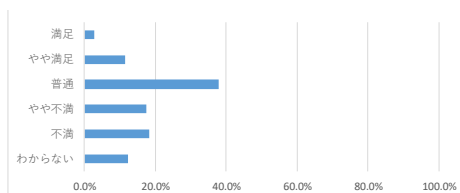
## ○結果概要

### Q 1. <水環境への満足度>

大阪市の水環境の状況に関する次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。あてはまるものを1つお選びください。

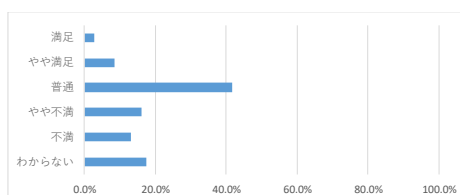
#### ①川や海の「水のきれいさ（見た目やにおいなど）」（水質）

	回答数	比率
1 満足	14	2.8%
2 やや満足	57	11.4%
3 普通	190	38.0%
4 やや不満	87	17.4%
5 不満	91	18.2%
6 わからない	61	12.2%
回答総数	500	100.0%



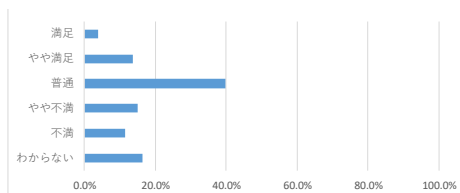
#### ②川や海などの水辺に生息する「鳥や魚、虫、草木などの生き物の豊かさ」（生物多様性）

	回答数	比率
1 満足	14	2.8%
2 やや満足	43	8.6%
3 普通	209	41.8%
4 やや不満	81	16.2%
5 不満	65	13.0%
6 わからない	88	17.6%
回答総数	500	100.0%



#### ③水辺空間（\*1）に対する「親しみやすさ」（ハード面での快適性）

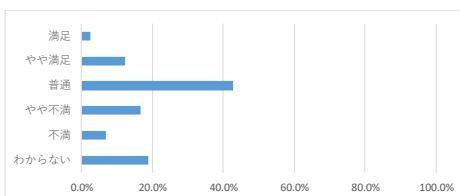
	回答数	比率
1 満足	19	3.8%
2 やや満足	68	13.6%
3 普通	199	39.8%
4 やや不満	75	15.0%
5 不満	57	11.4%
6 わからない	82	16.4%
回答総数	500	100.0%



（\*1）「水辺空間」とは川や海、干潟やワンド、野鳥園臨港緑地やシーサイドコスモなどの海辺の緑地、とんぼりリバーウォークなどの遊歩道、川の駅（船着き場）など

#### ④水辺空間で開催されるイベント等での「にぎわいの楽しさ」（にぎわい）

	回答数	比率
1 満足	13	2.6%
2 やや満足	62	12.4%
3 普通	214	42.8%
4 やや不満	83	16.6%
5 不満	34	6.8%
6 わからない	94	18.8%
回答総数	500	100.0%

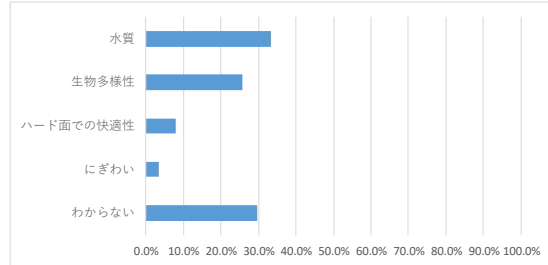


「満足」、「やや満足」と回答した方は全項目で 10%台であるが「普通」と回答した方を加えると全項目で約 50%の結果となっている。しかし「やや不満」、「不満」と回答している方は全項目で 20%を超えている結果となった。昨年度結果と比較すると「満足」、「やや満足」と回答した割合はハード面での快適性、水質について増加、生物多様性のみ減少していた。なお、にぎわいの楽しさについては、昨年度と同様の結果となった。啓発事業の内容の充実やイベント対象区の変更などの取組みを進めていく。

## Q2. <水環境改善に向けた必要事項>

大阪の水環境をさらに改善していくために、あなたはどの項目が一番必要だと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

		回答数	比率	
1	川や海の「水のきれいさ（見た目やにおいなど）」	水質	167	33.4%
2	川や海などの水辺に生息する「鳥や魚、虫、草木などの生き物の豊かさ」	生物多様性	128	25.6%
3	水辺空間に対する「親しみやすさ」	ハード面での快適性	40	8.0%
4	水辺空間で開催されるイベント等での「にぎわいの楽しさ」	にぎわい	17	3.4%
5	わからない	わからない	148	29.6%
回答総数			500	100.0%



約33%の方が水質、約26%の方が生物多様性が必要だと思っているとの結果であり、昨年度結果から大きな変動はなかった。

## Q3. <水質改善に必要な事項>

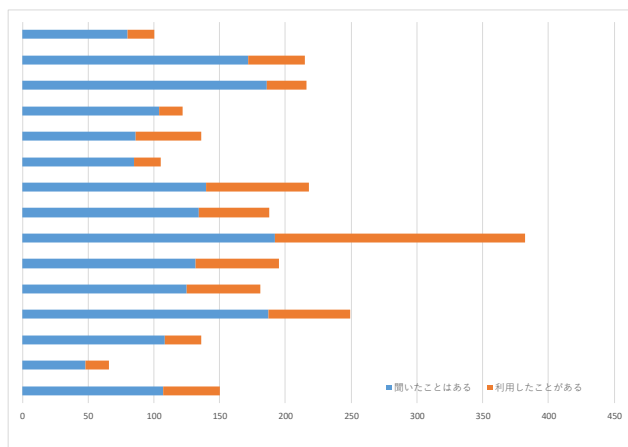
大阪の水環境の改善のためには、どのようなことが必要と考えていますか。ご自由にご記入ください。

主な意見として、「一人一人の意識・個人の自覚・マナー向上等」が11件、「ごみを出さない・捨てない・不法投棄の罰則化」といったごみに関することについては67件、「生活排水・工場排水の規制強化、管理、削減、排水処理施設の整備」といった排水に関することについては16件、「水質の改善」といった水質に関することについては23件、「意識改革・意識づけ」といった意識に関することについては16件であった。一方で「なし・わからない・思いつかない」等は166件、無回答は54件であった。

## Q4. <水辺施設を利用した市民の割合>

あなたは（最近5年間に）次の水辺の施設・空間を利用したことがありますか？また、ご存じですか？あてはまるものをすべてお選びください。

	聞いたことはある	利用したことがある
1 大川ふれあいの水辺	80	20
2 大阪南港釣り公園	172	43
3 大阪北港マリーナ	186	30
4 下水処理場のせせらぎ（大野、放出、平野の各下水処理場に設置）	104	18
5 城北川遊歩道	86	50
6 タグボート大正	85	20
7 築港と天保山（中央突堤やサンセット広場（マーメイド像））	140	78
8 とんぼりリバーウォークと湊町リバープレイス	134	54
9 中之島公園	192	190
10 南港の海浜緑地（野島園臨港緑地、シーサイドコスモ）	132	63
11 船着き場（川の駅など）	125	56
12 大阪港や市内河川のクルーズ船	187	62
13 舞洲の磯・緑道と大阪まいしまシーサイドパーク	108	28
14 矢倉緑地公園	48	18
15 淀川の干潟（柴島干潟、十三干潟、城北ワンド）	107	43



「中之島公園」については約80%の方が聞いたことはある若しくは利用したことがあると回答している。次いで「大阪港や市内河川のクルーズ船」が約50%であったが、それ以外の施設・空間については50%に満たない結果となっている。

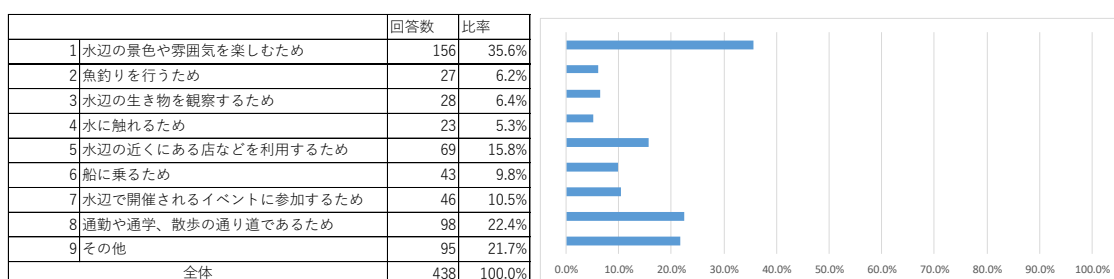
### Q 5. <水辺施設を利用した市民の割合>

Q 4 で記載のない大阪市内の水辺の施設・空間を、最近 5 年間に利用したことがある場合は、その名称をご記入ください。

施設名称としては、大阪城公園や城北公園、南港野鳥園といった回答があった。一方で「なし・わからない・思いつかない」等は 228 件、無回答は 210 件であった。

### Q 6. <水辺の施設・空間の利用目的>

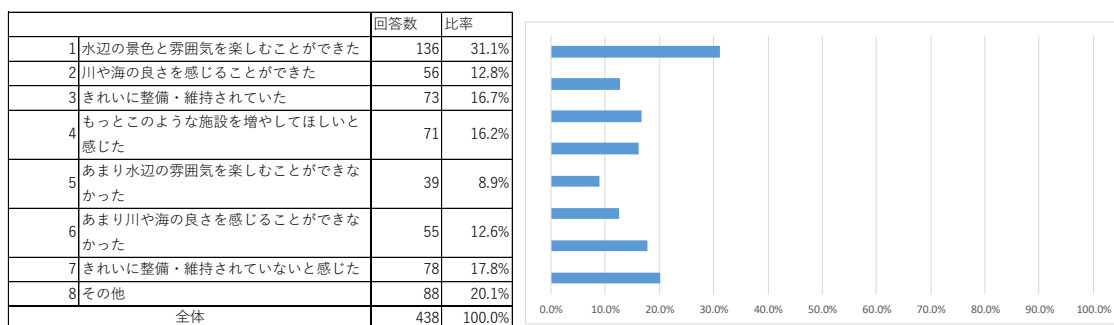
Q 4 もしくは Q 5 で回答いただいた、あなたが利用した水辺の施設・空間について、どのような目的で利用しましたか。以下の選択肢よりあてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない理由により水辺の施設・空間を利用した場合は、「その他」に利用した理由をご記入ください。



約 36%の方が「水辺の景色や雰囲気を楽しむため」と回答しており、次に多かったのは「通勤や通学、散歩の通り道であるため」で約 22%、次いで「水辺の近くにある店などを利用するため」の約 16%であった。昨年度結果と比較すると、「船に乗るため」が約 7%増、「通勤や通学、散歩の通り道であるため」が約 5%増、一方で「水辺の景色や雰囲気を楽しむため」は約 18%、「魚釣りをを行うため」約 7%減の結果であった。

### Q 7. <水辺の施設・空間を利用した感想>

Q 4 もしくは Q 5 で回答いただいた、あなたが利用した水辺の施設・空間について、利用した感想はどうでしたか。以下の選択肢よりあてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない感想がある場合は、「その他」に感想をご記入ください。



昨年度結果と同様「水辺の景色と雰囲気を楽しむことができた」や「きれいに整備・維持されていた」など肯定的な回答が「楽しむことができなかった」や「良さを感じることができなかった」といった否定的な回答を上回る結果であった。

#### Q 8. <希望の水辺の施設・空間>

大阪市には今後どのような水辺の施設・空間があればいいと考えていますか。ご自由にご記入ください。

「広場・公園等」が20件、「子供が水に触れて遊べる場所」等が6件、「レストラン・カフェ」等が3件、「クルーズ船・観覧船」が2件であった。一方で「何も必要ない・今のままで十分」といった回答は2件で、「なし・わからない・思いつかない」といった回答は135件、無回答が104件であった。昨年度結果と比べると「なし・わからない・思いつかない」増えており現状の施設で満足している市民が増えていると推察される。

#### Q 9. <参加を希望する水辺空間を利用したイベント>

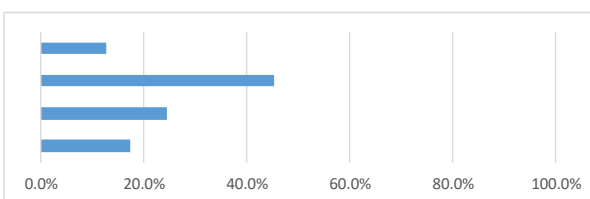
大阪市において、今後どのような「水辺空間を利用したイベント」を開催すれば、参加したいと思われますか。ご自由にご記入ください。

「釣り大会」等が6件、「花火大会」等が11件、「子供が楽しめるイベント」等が3件、「バーベキュー」等が3件、「お祭り」等が4件、「音楽イベント」等が4件であった。一方で「イベント不要・参加したくない・わからない・思いつかない」といった回答が223件、無回答が104件であった。昨年度結果と比べると「イベント不要・参加したくない・わからない・思いつかない」の件数が約60件増えておりイベント自体を望まない市民が増えていると推察される。

#### Q10. <海洋プラスチックごみ問題について関心度>

あなたは海洋プラスチックごみ問題について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

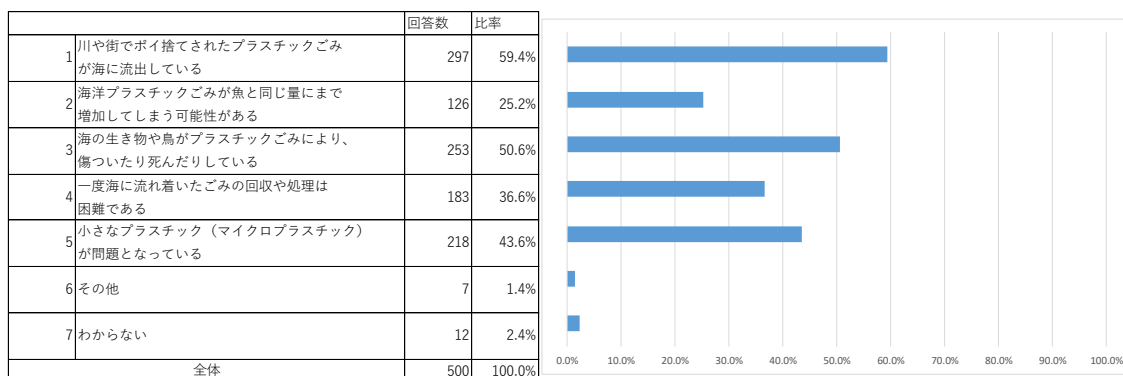
	回答数	比率
1 とても関心がある	63	12.6%
2 ある程度関心がある	227	45.4%
3 あまり関心がない	123	24.6%
4 全く関心がない	87	17.4%
全体	500	100.0%



「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方が約60%に上り、「あまり関心がない」、「全く関心がない」と回答した方を大きく上回る結果であった。昨年度結果から大きな変動は見られなかった。

### Q11. <海洋プラスチックごみ問題について関心度>

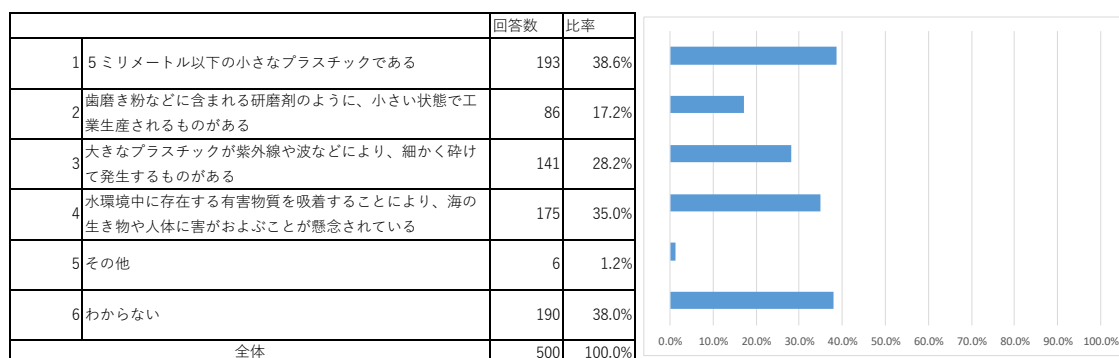
海洋プラスチックごみについてどのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない内容がある場合は、「その他」にご記入ください。



約 60%の方が「ポイ捨てされたごみが海へ流出している」ことを知っており、約 51%の方が「プラスチックごみにより生き物が傷ついている」ことを知っていた。昨年度結果と比較して「わからない」と回答した方の割合が約 12%減少していることから海洋プラスチック問題についての関心度が高まっていることが示唆され、海洋プラスチックごみ問題の認識が徐々に広まっていることが推察される。

### Q12. <マイクロプラスチックが起こす問題の認知度>

「マイクロプラスチック」についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない内容がある場合は、「その他」にご記入ください。



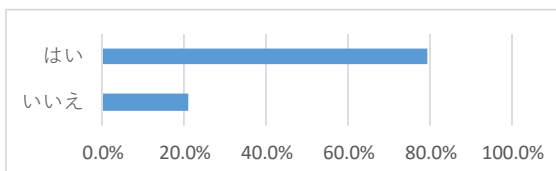
マイクロプラスチックの定義である5ミリメートル以下ということは約 39%の方が知っており、生態系へ及ぼす影響については約 35%の方が知っていた。昨年度結果と比較して「わからない」と回答した方の割合は横ばいであり、さらなる認識を増やす取り組みが必要であると推察される。

Q13. <プラスチックごみを削減するための行動>

あなたはプラスチックごみを削減するために次の行動をしていますか？「はい」「いいえ」のうち、よくとっている行動の方であてはまるものを1つお選びください。

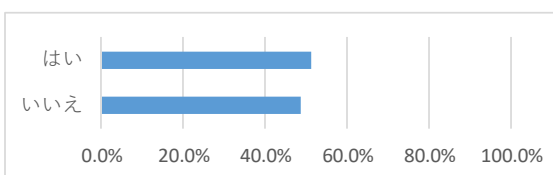
①エコバックを持ち歩いている

	回答数	比率
1 はい	396	79.2%
2 いいえ	104	20.8%
回答総数	500	100.0%



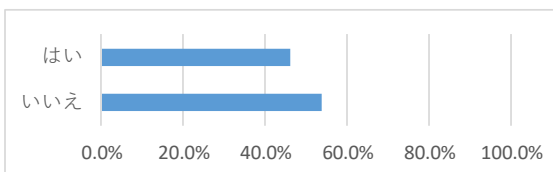
②マイボトルを持ち歩いている

	回答数	比率
1 はい	256	51.2%
2 いいえ	244	48.8%
回答総数	500	100.0%



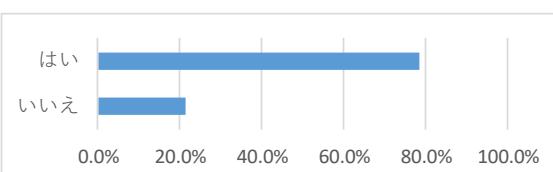
③ワンウェイのプラスチック（ストローやスプーンなど）をできるだけ使用しない

	回答数	比率
1 はい	231	46.2%
2 いいえ	269	53.8%
回答総数	500	100.0%



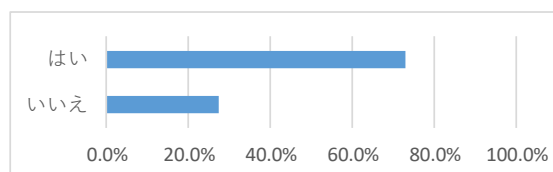
④詰め替え用品を購入している

	回答数	比率
1 はい	392	78.4%
2 いいえ	108	21.6%
回答総数	500	100.0%



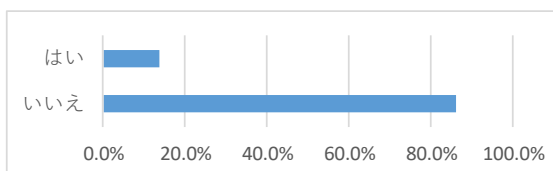
⑤容器包装プラスチックやペットボトルをきちんと分別して廃棄している

	回答数	比率
1 はい	364	72.8%
2 いいえ	136	27.2%
回答総数	500	100.0%



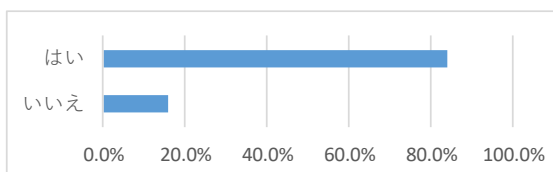
⑥自宅や勤務先周辺などでの地域の清掃活動に参加している

	回答数	比率
1 はい	69	13.8%
2 いいえ	431	86.2%
回答総数	500	100.0%



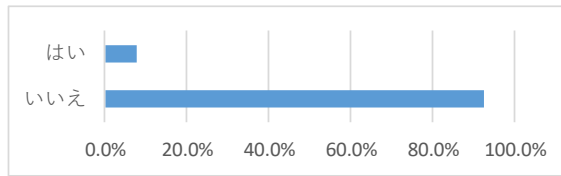
⑦プラスチックなどのごみのポイ捨てをしない

	回答数	比率
1 はい	420	84.0%
2 いいえ	80	16.0%
回答総数	500	100.0%



⑧プラスチックごみ削減に係るイベント、研修や学習会に参加している

	回答数	比率
1 はい	38	7.6%
2 いいえ	462	92.4%
回答総数	500	100.0%



約 70~85%の方が「ポイ捨てをしない」、「エコバックを持ち歩いている」、「詰め替え用品を購入している」「容器包装プラスチックやペットボトルをきちんと分別して廃棄している」と回答していた。一方、「マイボトルを持ち歩いている」、「ワンウェイのプラスチック（ストローやスプーンなど）をできるだけ使用しない」と回答した方は約 50%であり「清掃活動に参加している」と回答した方は約 14%、「ごみ削減に係るイベント、研修や学習会に参加している」と回答した方は 10%に満たない結果であった。①~⑧を合計した行動している市民の割合は 54%であり約半数以上の方はプラスチックごみ削減について行動していた。

Q14. <プラスチックごみを削減するための行動>

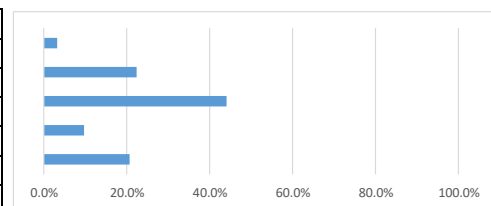
Q13 で記載のないプラスチックごみを削減するための行動をしている場合は、その行動内容をご自由にご記入ください。

「使わない・買わない・購入しない」等が 20 件、「紙製品の利用」等が 4 件、一方で「なし・わからない・思いつかない」といった回答が 178 件、無回答が 151 件であった。昨年度結果と比較して「無回答」は減少していたが「なし・わからない・思いつかない」の件数が概ね同じであった。

Q15. <まちなかでのプラスチックごみの状況>

路上や公園などまちなかでのプラスチックごみの状況について、あてはまるものを 1 つお選びください。

	回答数	比率
1 プラスチックごみは全く見当たらない	16	3.2%
2 プラスチックごみはほとんど見当たらない	112	22.4%
3 プラスチックごみをよく見かける	220	44.0%
4 プラスチックごみをたくさん見かける	48	9.6%
5 わからない	104	20.8%
全体	500	100.0%



「プラスチックごみをよく見かける」、「プラスチックごみをたくさん見かける」と回答した方が約 54%であり、「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方を大きく上回る結果であった。昨年度結果と比較すると「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方の割合は横ばいであった。

Q16. <川や大阪湾でのプラスチックごみの状況>

大阪市内の川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について、あてはまるものを1つお選びください。

	回答数	比率
1 プラスチックごみは全く見当たらない	9	1.8%
2 プラスチックごみはほとんど見当たらない	73	14.6%
3 プラスチックごみをよく見かける	172	34.4%
4 プラスチックごみをたくさん見かける	39	7.8%
5 わからない	207	41.4%
全体	500	100.0%

「プラスチックごみをよく見かける」、「プラスチックごみをたくさん見かける」と回答した方が約42%であり、「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方を大きく上回る結果であった。昨年度結果と比較すると「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方の割合は横ばいであった。しかし、「プラスチックごみをよく見かける」、「プラスチックごみをたくさん見かける」と回答した方は約6%減であった。

Q17. <プラスチックごみを減らすためにすべきこと>

プラスチックごみを減らすため、どうしたらよいと思いますか。ご自由にご記入ください。

「個人意識の向上・個人の自覚・モラルの向上・マナーの向上」といった意見が45件、「ゴミ箱の設置」等が10件、「分別の徹底」等が14件、「罰則の強化・罰金」等が18件、「監視カメラの設置」等が3件、「啓発活動・学校教育」等が7件、「使用しない・使用を減らす・使用の制限」等が24件であった。一方で「なし・わからない」といった回答が94件、無回答が113件であった。